

科目名	成育看護実習 I	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	内 正子、丸山 有希、牛越 幸子、菅野 由美子、今野 睦美、吉田 陽子、志藤 千晴、服部 律子、小西 真千子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児との間で援助的人間関係がとれる。</li> <li>2. 乳幼児の成長・発達を理解できる。</li> <li>3. 乳幼児の生活について理解できる。</li> <li>4. 健康な生活のための支援について考察できる。</li> <li>5. 援助者としての態度、学習姿勢が修得できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>既習の生活援助についての知識や技術を地域で生活する子どもへの看護実践に適用し、看護の理論と実践を結びつけて理解できる能力を学ぶ。</p> <p>具体的には、地域にある施設において実習を行い、乳幼児とのコミュニケーションを体験し、発達段階における成長・発達、健康な生活のあり方を理解し、その支援について学ぶ。</p> <p>支援者の乳幼児への接し方や支援を見学し、援助者としての態度を養う。</p> <p>[ 準備学修(授業前後の主体的な学修) ]</p> <p>実習施設の概要やその地域の特性を調べておくこと。</p> <p>効果的な学習が深まるよう事前課題を各自学習しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <p>事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習場は神戸市内の保育所・幼稚園とする。</li> <li>2. 臨地でオリエンテーションを受け、各クラスに配置する。乳幼児が生活する場としての設備や環境について理解する。(1日目)</li> <li>3. 乳幼児の生活(遊び、食事、更衣、清潔、休息など)を見学し、それぞれの年齢に沿った成長発達について理解する。(2、3日目)</li> <li>4. 乳幼児に対する支援者の活動を理解する。(1、2、3日目)</li> <li>5. 乳幼児とコミュニケーションを図り、援助的関係を築く。(2、3、4日目)</li> <li>6. 支援者の指導の下、生活援助に参加する。(2、3、4日目)</li> <li>7. 乳幼児にとっての健康な生活のあり方とその援助について理解する。(3日目)</li> <li>8. 多職種との連携や情報共有について理解する。(4日目)</li> <li>9. 多職種との連携・協働を通して、看護の役割について理解する。(4日目)</li> <li>10. 看護職としての援助的態度を探索する。(4日目)</li> <li>11. 全体カンファレンスを行い、学びを共有し学びを深める。(5日目)</li> <li>12. 実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。(5日目)</li> </ol>				

科目名	成育看護実習 I	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	内 正子、丸山 有希、牛越 幸子、菅野 由美子、今野 睦美、吉田 陽子、志藤 千晴、服部 律子、小西 真千子			
<p>[ 成績評価方法 ]  実習達成度(70%)、課題レポート(20%)、実習態度(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  実習達成度については、面談を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-2/(看護の表現力)自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:実習記録、課題レポート、面談</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  実習要領 著者名:成育看護領域 出版社:小野高速印刷</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>				